

# 第1回 下水道における新たな PPP/PFI 事業の促進に向けた検討会 における論点整理

## ■ 技術継承

- 直営から PPP/PFI を導入する場合、技術継承が課題。行政側で技術継承すべきところを明らかにしていただきたい。
- 今後、人材、特に技術者の不足が大きな問題となる。PPP/PFI がより活用されるようになるだろうが、地方公共団体の職員が適切にトータルマネジメントやモニタリングを担っていくための技術継承が一番の課題であり、人事交流が有効ではないか。

## ■ 地域活性化への貢献

- 今後、コンセッション方式等を含めて、多様な PPP/PFI の導入を検討していくことになると思うが、地元企業の活用と地方公共団体側の技術継承・人材育成等のバランスをとって進めていくことが重要。
- 地元企業には維持管理業務のノウハウがない。全国規模の企業に任せることは簡単であるが、それでは地域活性化にならない。地元企業を PPP/PFI に上手く組み込む仕組み作りが重要。

## ■ 公平性・透明性・競争性の確保

- 公平性、公正性を担保しながら、民間企業の選定や執行状況のモニタリングを実施するためには、第三者的な機関の支援が有効ではないか。
- コンセッション方式等の PPP/PFI については長期間になることが想定されるため、民間企業の選定における公平性・透明性の確保が必要。
- PFI 方式等では、長期間にわたり競争原理が働かなくなる。その結果、受注企業が硬直化し、地元企業の育成が進まないことや、受注企業の業務が利益優先により局所最適化してしまうことへの懸念がある。

## ■ PPP/PFI の事業形成ノウハウの確保

- 市町村における執行体制の確保や PPP/PFI の導入促進には、都道府県の指導力が今まで以上に必要だと思う。

## ■ 合意形成

- コンセッションは長期的な委託になるので、公平性・透明性の確保に加え、関係者との合意形成の進め方が難しく、課題である。

## ■ 財源

- コンセッション等に含まれる改築に要する交付金等の財源をどのように担保するかが課題と考えている。

## ■ 広域化

- 小規模な地方公共団体では、包括的民間委託でも割高感があるため、例えば、協議会制度を活用し、複数市町村で包括的民間委託を広域的に実施するなどのノウハウを得たい。